

## 令和元年度 第1回 教育課程編成委員会 報告

1. 開催日時：令和元年12月19日（木）16：30～
2. 開催場所：大阪教育福祉専門学校 会議室
3. 委員：

	氏名	所属等	出欠
業 界 団 体	竹本 榮	大阪市私立保育園連盟副会長 平野愛和学園長	出席
	水戸井 ゆかり	第二善児園園長	出席
	村田 智子	勝山愛和香里ヶ丘幼稚園教諭	出席
	福本 光美	勝山愛和第二幼稚園教諭	出席
学 校 教 職 員	三上 教道	学校長	出席
	吉本 春樹	副校長	出席
	三上 聡子	学科長	出席
	入江 実	教授	出席
	日村 義正	学務次長	出席
	中島 仁志	学務部	出席

### 4. 議事

#### (1)学園長挨拶

免許法及び施行規則の改正に伴い、平成31年4月1日より教職課程が新課程に移行した。新課程では、中教審答申を受けて、教員としての資質の向上、並びにすべての教員養成機関の教職課程で共通的に修得すべき資質能力を示した教職課程コアカリキュラムが定められた。また、保育士養成においても指定基準が一部改正された。

本校においても、こうした変更を受け、これに本校独自の教科目を加えて、教育課程に変更を加えたところである。

本会議の趣旨並びに、教育・保育現場の意見を拝聴し、教育課程において取り組み可能な内容については取り組んでいきたい。

#### (2)報告（改正教育課程について）

昨年度、文部科学省より、教員養成の大学・短大・専門学校は、教職科目を中心としたコアカリキュラムを導入し、全国の教員養成は必ず授業の中に取り入れるよう指導を受けて再課程申請を行い、本年1月29日付で承認された。また、併せて厚生労働省も保育士養成におけるカリキュラムの見直しと、保育所保育指針改定と併せて、教育課程の見直しがあり申請し、受理された。

平成31年度から定員変更をし、昼間は150名を75名に、夜間の50名を40名に変更し、夜間の幼教科（2年課程）は募集を停止する。

また、新年度入学生より昼間の「教育保育科」の各コース（教育保育・児童体育・こども福祉コース）を統合し、「幼稚園教諭免許と保育士資格」の両取得可能となるよう教育課程を編成した。その上で、従前の児童体育コース、こども福祉コースで取得していた資格（スポーツ指導員資格、社会福祉主事任用資格）については、選択で科目履修することによって資格を取得する形とした。

**【配付資料】**

ディプロマポリシー・ツリー（従前の内容を図示化）

カリキュラム構造図（在学期間中の学習過程を段階的に明示）

カリキュラムマップ I部・II部（到達目標を学期ごとに科目設定）

**(3)意見交換**

- ・今回の改正で「特別支援教育概論」が新たに加えられたが、現場においても児童虐待の問題がクローズアップされている。現場では防止マニュアルを作成するなどしているが、今後の保育者にとってもそうした問題への対応が課題となってくると思われる。
- ・「子どもの健康と安全」が加えられたが、現場においても災害時の安全確保が大きな課題となっている。行政からハザードマップ等が配布されるが、現場では役に立たないこともある。また、給食においても子どものアレルギー対策などの課題がある。
- ・実務家教員による現場の経験主義も大切であるが、専門教育を維持するためには経験と理論を兼ね備えた教員の育成が重要であると思われる。

## 令和元年度 第2回 教育課程編成委員会 報告

1. 開催日時：令和2年1月23日（木）16：30～
2. 開催場所：大阪教育福祉専門学校 会議室
3. 委員：

	氏名	所属等	出欠
業 界 団 体	竹本 榮	大阪市私立保育園連盟副会長 平野愛和学園長	出席
	水戸井 ゆかり	第二善児園園長	出席
	村田 智子	勝山愛和香里ヶ丘幼稚園教諭	出席
	福本 光美	勝山愛和第二幼稚園教諭	出席
学 校 教 職 員	三上 教道	学校長	出席
	吉本 春樹	副校長	出席
	三上 聡子	学科長	出席
	入江 実	教授	出席
	日村 義正	学務次長	欠席
	中島 仁志	学務部	出席

### 4. 議事

#### (1)学園長挨拶

本会議の趣旨並びに、教育・保育現場の意見を拝聴し、教育課程において取り組み可能な内容については取り組んでいきたい。

#### (2)報告

第1回の会議では、「ディプロマポリシー・ツリー」等の資料を基に、新年度入学生より昼間の「教育保育科」の各コース（教育保育・児童体育・こども福祉コース）を一つにして、「幼稚園教諭免許と保育士資格」の両取得可能となるよう編成していることを報告したが、カリキュラムマップでは、本校の教育目標（アドミッション・ポリシー（AP）、カリキュラム・ポリシー（CP）、ディプロマ・ポリシー（DP））と専門科目との相関関係を示し、卒業までに身につけるべき能力のどの項目と各科目とが関連するかを示してる。

また学生の学修成果に関するPDCAサイクルとして、今年度前期分の「学生アンケート」と「教員による自己点検評価」をもとにした「授業評価」について報告する。

#### (3)意見交換

- ・「授業評価」については1年後、2年後を見据えた評価の在り方が必要である。「質の高い保育者」の育成と現場で求められる人材像との関連性、また授業計画の評価

を教員と学生の両面から実施し、学修の質保証の問題～学校での学びが保育者としての能力向上につながっているか～の論議が必要である。

- ・現場では保育者としての専門性と共に、問題への対応力が問われている。実習等での体験から知識だけではない体験の意味を考えてほしい。